

2025年7月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月12日
東

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所
コード番号 5572 URL <http://ridge-i.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳原 尚史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(4214)8558
定時株主総会開催予定日 2025年10月28日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年10月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期の連結業績(2024年8月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期	2,593	—	283	—	290	—	139	—
2024年7月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年7月期 188百万円(—%) 2024年7月期 一百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年7月期	36.00	34.87	6.5	9.9	10.9
2024年7月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2025年7月期 一百万円 2024年7月期 一百万円

※前連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、前連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結経営成績については記載を省略しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期	2,846	2,458	77.0	560.33
2024年7月期	3,043	2,440	69.7	549.68

(参考) 自己資本 2025年7月期 2,190百万円 2024年7月期 2,122百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年7月期	51	△53	△286	1,827
2024年7月期	—	—	—	—

※前連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であり、また、連結子会社のみなし取得日を連結会計年度末日としていることから、前連結会計年度においては貸借対照表のみを連結しているため、連結キャッシュ・フローの状況については記載を省略しています。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年7月期の連結業績予想(2025年8月1日～2026年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,260	△10.5	120	△40.2	120	△40.8	70	△29.8	17.90
通 期	2,800	8.0	265	△6.4	265	△8.9	154	10.3	39.40

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年7月期	3,909,880株	2024年7月期	3,861,160株
② 期末自己株式数	2025年7月期	76株	2024年7月期	2株
③ 期中平均株式数	2025年7月期	3,878,057株	2024年7月期	3,806,543株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年7月期の個別業績 (2024年8月1日~2025年7月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期	1,280	19.4	161	5.9	163	6.6	116	△4.6
2024年7月期	1,071	35.6	152	117.1	153	151.3	121	173.1

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年7月期	29.95		29.01	
2024年7月期	31.97		30.52	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2025年7月期	2,470		2,291		92.4		584.15	
2024年7月期	2,358		2,135		90.5		552.71	

(参考) 自己資本 2025年7月期 2,283百万円 2024年7月期 2,134百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法について)

当社は、2025年9月18日 (木) に機関投資家及びアナリスト向け説明会 (オンライン説明会) を開催する予定です。当日の説明会資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較・分析の記載はしておりません。

当連結会計年度（2024年8月1日から2025年7月31日）における我が国経済は、雇用環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られ、このような中、生成AI技術への注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。ただし、円安による輸入コストの上昇や、物価・賃金コストの上昇など、依然として、経済全体としての外部リスク要因は継続しています。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションの提案から実装までを行っており、特に直近では生成AI関連と衛星データ利用のニーズが増加しております。また、AI技術と親和性の高いデジタルマーケティング事業において、SNS広告のプランニングから制作までとプラットフォームの配信や広告等で利用される音楽制作を展開してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、既存顧客からのAIプロジェクトの継続、生成AIテーマ案件の増加及び一部案件の大型化により、また、前連結会計年度末より株式会社スターミュージック・エンタテインメントの連結子会社化を行いデジタルマーケティング事業が加わった結果、2,593,322千円となり、売上総利益については、1,325,959千円となりました。

営業利益については、上記のとおり売上高の増加に伴い、283,137千円となりました。販売費及び一般管理費は外注利用、積極的な採用活動や生成AI等の新しい技術に対応するために研究開発等を継続しておりますが、売上高の増加が費用増加を上回っており、営業利益率は10.9%で当初想定を上回りました。

経常利益については、290,846千円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等102,722千円及び子会社の株主持分が53.8%のため非支配株主に帰属する当期純利益48,496千円により、139,627千円となりました。

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」の単一セグメントでしたが、前連結会計年度末より「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分に変更しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、売上高が1,280,324千円、セグメント利益が161,725千円となり、そのサービス別の売上高は、前期から継続している大手企業の顧客を中心にしたAIプロジェクトの継続に加えて開始が遅れていた案件やコンサルティングファームとの連携による案件が進捗したことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は896,681千円となりました。衛星関連プロジェクトは予定通り大型案件が2025年3月で完了し保守運用フェーズへ移行したことにより売上が上期に多い結果となり年間の人工衛星AI解析の売上高は280,996千円となりました。直近は新年度案件への移行期となっております。AIライセンス提供については大型の保守運用が継続しており売上高は102,646千円となりました。

②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、売上高が1,312,998千円、セグメント利益が121,412千円となり、そのサービス別の売上高は、大手企業からの広告制作や運用などが増加した一方でプラットフォームからの受注が減少しソーシャルメディアマーケティングの売上高は954,621千円、保有する楽曲からの権利収入が増加し音楽制作配信サービスの売上高は358,377千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,306,169千円となり、前連結会計年度末に比べ162,171千円減少いたしました。これは主に、子会社株式の追加買取や借入金の返済により現金及び預金が288,210千円減少したこと及び直近月の売上増加により売掛金及び契約資産が119,700千円増加したことによるものであります。また、当連結会計年度末における固定資産は540,149千円となり、前連結会計年度末に比べ34,737千円減少いたしました。これは主にのれんの償却などにより無形固定資産が46,590千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は2,846,318千円となり、前連結会計年度末に比べ196,909千円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は369,883千円となり、前連結会計年度末に比べ162,358千円減少いたしました。これは主に前受金を受領していたプロジェクトが進捗し売上計上したことにより契約負債が122,137千円減少したこと及び借入金の全額返済により1年内返済予定の長期借入金が48,106千円減少したことによるものであります。また、当連結会計年度末における固定負債は17,654千円となり、前連結会計年度末に比べ53,003千円減少いたしました。これも借入金の全額返済により長期借入金が47,237千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は387,538千円となり、前連結会計年度末に比べ215,361千円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,458,780千円となり、前連結会計年度末に比べ18,452千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が139,627千円増加しましたが、一方で子会社株式の追加買取により資本剰余金が87,994千円、非支配株主持分が55,741千円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末から288,210千円減少し、1,827,826千円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は51,323千円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益290,846千円があった一方で、売上債権及び契約資産の増加119,700千円及び大型プロジェクト完了により収益計上したことによる契約負債の減少122,137千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は53,143千円となりました。これは主に、前期に購入したサーバー購入代金の支払いにより有形固定資産の取得による支出43,697千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は286,323千円となりました。これは主に、子会社の株式会社スターミュージック・エンタテインメントの株式を追加取得したことによる支出209,160千円と子会社で長期借入金を全額返済したことによる支出95,343千円があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年7月期につきましては、カスタムAIソリューション事業の需要を獲得すべく積極的な事業展開を続けるとともに、組織強化と人材増強に努めてまいります。カスタムAI事業におけるコンサル開発サービスは、既存企業プロジェクトの継続と大型案件の獲得に注力すること、また、引き続き需要の多い生成AIのサービスの売上増加を目指します。衛星AIは官公庁を中心に需要が拡大していますが、2026年7月期はプロジェクトの仕込み期にあたり獲得を目指している大型公募案件の影響は今後の業績予想に含めておらず、このため売上は減少を見込んでいます。またデジタルマーケティング事業は、事業環境の変化への対応とデジタル化に注力していくため売上は横ばい程度を見込んでいます。

以上を踏まえ、当社の2026年7月期通期の連結業績予想につきましては、売上高2,800百万円、営業利益265百万円、経常利益265百万円、親会社株主に帰属する当期純利益154百万円を見込んでおります。

業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と大きく異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当連結会計年度 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,116,037	1,827,826
売掛金及び契約資産	285,496	405,196
前払費用	22,183	32,829
その他	44,623	40,315
流動資産合計	2,468,340	2,306,169
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	35,661	33,209
車両運搬具（純額）	7,137	—
工具、器具及び備品（純額）	44,812	30,627
有形固定資産合計	87,611	63,837
無形固定資産		
ソフトウェア	37,882	15,497
のれん	333,116	299,804
その他	—	9,105
無形固定資産合計	370,998	324,408
投資その他の資産		
敷金及び保証金	53,874	52,060
繰延税金資産	23,753	47,426
その他	38,649	52,417
投資その他の資産合計	116,277	151,904
固定資産合計	574,887	540,149
資産合計	3,043,228	2,846,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当連結会計年度 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,065	177,903
1年内返済予定の長期借入金	48,106	—
未払金	122,190	54,217
未払法人税等	18,671	61,339
契約負債	122,175	38
賞与引当金	3,379	13,155
役員賞与引当金	—	7,150
その他	57,653	56,079
流動負債合計	532,241	369,883
固定負債		
長期借入金	47,237	—
資産除去債務	17,553	17,654
繰延税金負債	5,867	—
固定負債合計	70,657	17,654
負債合計	602,899	387,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,465	38,392
資本剰余金	1,945,140	1,857,145
利益剰余金	155,797	295,425
自己株式	△1	△194
株主資本合計	2,122,401	2,190,769
新株予約権	1,590	7,416
非支配株主持分	316,336	260,595
純資産合計	2,440,328	2,458,780
負債純資産合計	3,043,228	2,846,318

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
売上高	2,593,322
売上原価	1,267,363
売上総利益	1,325,959
販売費及び一般管理費	1,042,821
営業利益	283,137
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,175
助成金収入	6,310
受取遅延損害金	1,070
その他	1,239
営業外収益合計	9,795
営業外費用	
支払利息	454
固定資産除却損	1,513
その他	119
営業外費用合計	2,086
経常利益	290,846
税金等調整前当期純利益	290,846
法人税、住民税及び事業税	132,262
法人税等調整額	△29,540
法人税等合計	102,722
当期純利益	188,124
非支配株主に帰属する当期純利益	48,496
親会社株主に帰属する当期純利益	139,627

連結包括利益計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2024年 8 月 1 日 至 2025年 7 月31日)	
当期純利益	188,124
包括利益	188,124
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	139,627
非支配株主に係る包括利益	48,496

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	21,465	1,945,140	155,797	△1	2,122,401
当期変動額					
新株の発行	16,927	16,927			33,854
親会社株主に帰属する 当期純利益			139,627		139,627
自己株式の取得				△192	△192
連結子会社株式の取得 による持分の増減		△104,921			△104,921
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	16,927	△87,994	139,627	△192	68,367
当期末残高	38,392	1,857,145	295,425	△194	2,190,769

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	1,590	316,336	2,440,328
当期変動額			
新株の発行			33,854
親会社株主に帰属する 当期純利益			139,627
自己株式の取得			△192
連結子会社株式の取得 による持分の増減			△104,921
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	5,825	△55,741	△49,915
当期変動額合計	5,825	△55,741	18,452
当期末残高	7,416	260,595	2,458,780

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	290,846
減価償却費	51,403
のれん償却額	33,311
受取利息及び受取配当金	△1,175
支払利息	454
株式報酬費用	5,825
固定資産除売却損益 (△は益)	1,513
助成金収入	△6,310
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△119,700
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,838
未払金の増減額 (△は減少)	△30,716
契約負債の増減額 (△は減少)	△122,137
その他	12,805
小計	133,960
利息及び配当金の受取額	1,175
利息の支払額	△528
助成金の受取額	6,310
法人税等の支払額	△89,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,323
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△43,697
有形固定資産の売却による収入	6,294
無形固定資産の取得による支出	△14,757
敷金及び保証金の回収による収入	1,814
その他	△2,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△95,343
株式の発行による収入	18,372
自己株式の取得による支出	△192
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△209,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,210
現金及び現金同等物の期首残高	2,116,037
現金及び現金同等物の期末残高	1,827,826

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「カスタムAIソリューション事業」、「デジタルマーケティング事業」の2事業を報告セグメントとしております。

・カスタムAIソリューション事業

「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションを提案し、実装することを目指す事業が対象となります。

・デジタルマーケティング事業

主要な動画配信プラットフォーム企業と提携し、企業向けマーケティングコンサルティングとクリエイターネットワークを活用した高品質かつ迅速な広告事業、及び独自の原盤配信ビジネスや著作権ビジネスを行う音楽レーベル機能に加え、プラットフォームへの楽曲提供、企業向け広告の楽曲制作を手掛けている事業が対象となります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当連結会計年度(自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額(注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,280,324	1,312,998	2,593,322	—	2,593,322
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,280,324	1,312,998	2,593,322	—	2,593,322
セグメント利益	161,725	121,412	283,137	—	283,137
セグメント資産	1,549,507	1,296,811	2,846,318	—	2,846,318
その他の項目					
減価償却費	42,268	9,134	51,403	—	51,403
のれんの償却額	—	33,311	33,311	—	33,311
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,865	15,406	21,272	—	21,272

(注) セグメント利益は、連結財務諸表計上額の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり純資産額	549.68円	560.33円
1株当たり当期純利益	—	36.00円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	34.87円

- (注) 1. 前連結会計年度は連結損益計算書を作成しておりませんので、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)	当連結会計年度 (自 2024年8月1日 至 2025年7月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	—	139,627
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	—	139,627
普通株式の期中平均株式数(株)	—	3,878,057
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)		126,145
(うち新株予約権(株))	—	(126,145)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2024年7月31日)	当連結会計年度末 (2025年7月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,440,328	2,458,780
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	317,927	268,011
(うち新株予約権(千円))	(1,590)	(7,416)
(うち非支配株主持分(千円))	(316,336)	(260,595)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,122,401	2,190,769
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	3,861,158	3,909,804

(重要な後発事象)

資本業務提携及び第三者割当増資による新株の発行

当社は、2025年9月12日付の取締役会決議により、以下のとおり、SBIホールディングス株式会社（以下「SBI」といいます）との戦略的な資本業務提携を行うこと及び割当予定先に対する第三者割当による新株の発行（以下「本第三者割当」といいます）を決議し、本資本業務提携についての契約を締結いたしました。募集の概要は以下のとおりです。

(1) 募集の概要

① 払込期日	2025年9月30日
② 発行新株式数	普通株式 390,000株
③ 発行価額	1株につき2,716円
④ 調達資金の額	1,059,240,000円
⑤ 資本組入額	1株につき1,358円
⑥ 資本組入額の増額	529,620,000円
⑦ 募集又は割当方法（割当予定先）	第三者割当の方法により、そのすべてをSBIに割り当てます。
⑧ その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件としています。

(2) 募集の目的及び理由

当社は、SBIとの間で協業に向けた協議を続けてまいりましたが、今般、長期的な関係強化と資本面における提携関係を構築することを目的とし、同社に対する第三者割当増資を実施することといたしました。

本第三者割当により、当社グループにおける成長事業への投資資金に充当することは、当社グループの売上や利益の増加につながり、事業価値向上が期待されます。

今後は、当社グループのAIを活用することで、SBIグループの業務効率化及び生産性向上や新規プロジェクト創出につなげることや、両グループ共同でのデータ分析による顧客マーケティング深化等、双方の強みを生かして事業の拡大をすべく、SBIからの本第三者割当を通じた関係強化により、戦略的な資本及び業務提携を行っていく方針です。

(3) 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

① 調達する資金の額

払込金額の総額（円）	発行諸費用の概算額（円）	差引手取概算額（円）
1,059,240,000円	10,000,000円	1,049,240,000円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、登記関連費用及び弁護士費用等の合計額であります。

② 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な使途及び支出予定時期につきましては、以下のとおりです。

具体的な用途	金額（千円）	支出予定時期
M&Aや資本業務提携のための出資金	649,240	2025年10月～2028年7月
AIシステム設備投資	300,000	2025年10月～2028年7月
AI人材の採用や育成を加速するための運転資金	100,000	2025年10月～2028年7月
合計	1,049,240	

(注) 上記の資金使途に充当するまでの間、当該資金は銀行預金で保管する予定です。